

1. 廃棄物発生予測と現状

(1) ごみ発生量・家庭系事業系別排出量

①ごみ発生量

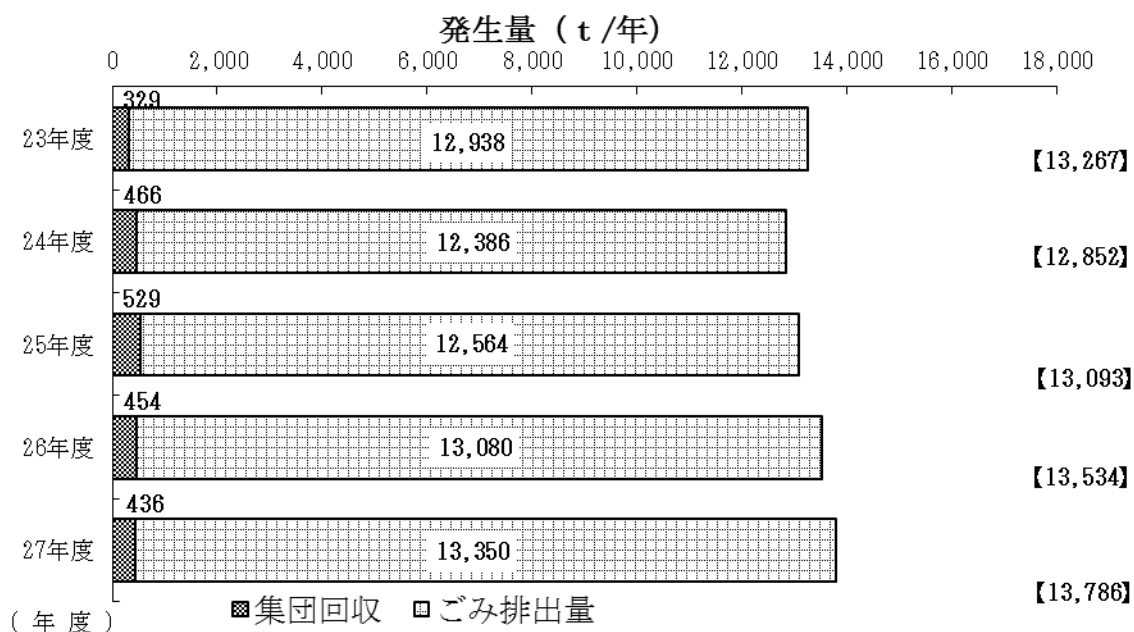
ごみ排出量と集団回収の合計値とした過去5年間（平成23年度～27年度）のごみ発生量は下表のとおりです。

ごみ排出量は、12,000 t～13,000 t 台で推移し、27年度は13,350 tで前年度より270 t増加しています。これは、震災復興事業に関連した事業所からの排出量増加、防災集団移転団地の完成に伴う引越しによる可燃ごみ排出量増加が原因と考えられます。

なお、集団回収については、436 tで前年度より18 t減少しています。

(単位：t)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
ごみ排出量①	12,938	12,386	12,564	13,080	13,350
集団回収②	329	466	529	454	436
ごみ発生量①+②	13,267	12,852	13,093	13,534	13,786



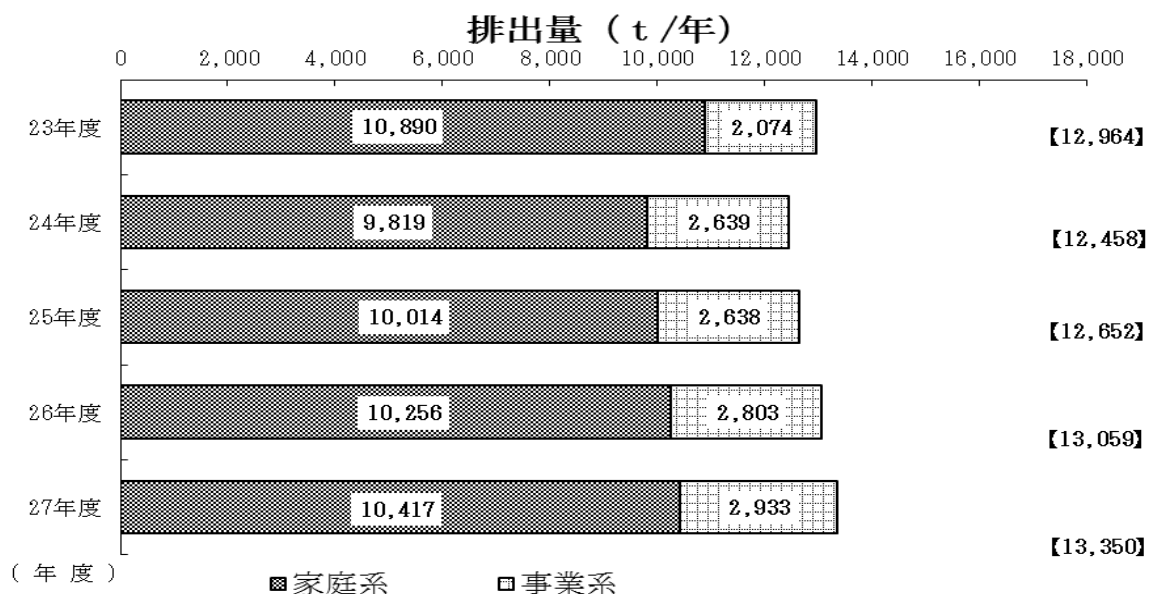
②家庭系・事業系排出量

家庭系ごみ、事業系ごみに分けた発生系別ごみ排出量の内訳は、下表のとおりで、家庭系ごみの占める割合が約78%です。

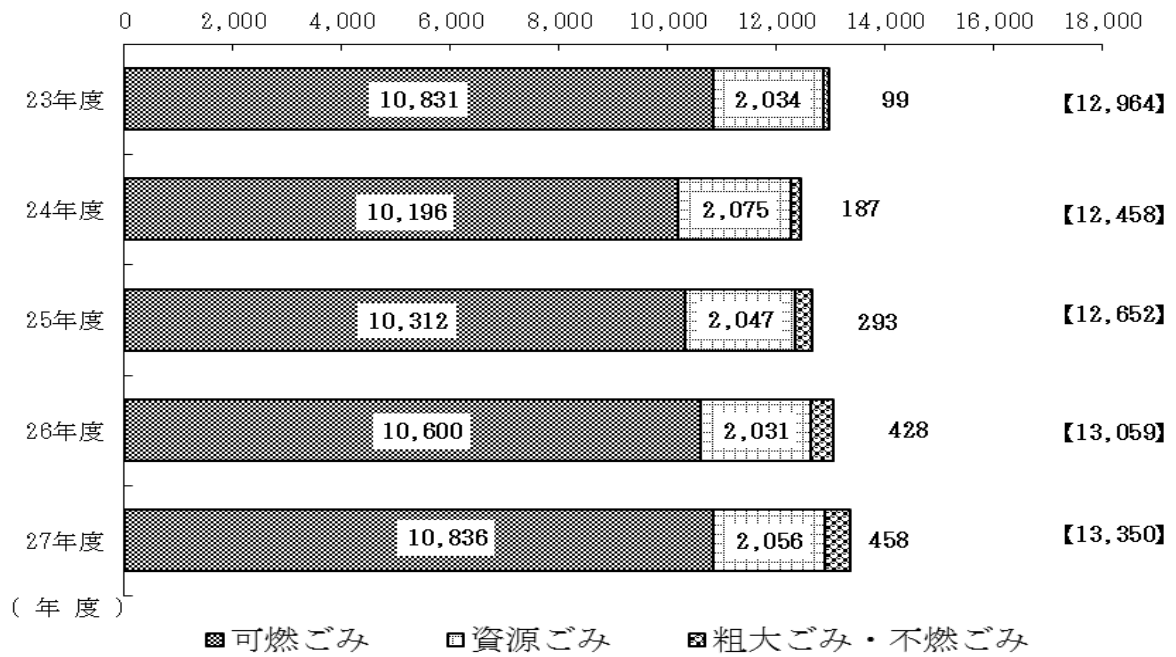
(単位：t)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
家庭系ごみ（委託収集・住民持込）	10,890	9,819	10,014	10,256	10,417
可燃ごみ（石巻広域分）①	5,378	7,716	7,864	7,985	8,031
*可燃ごみ（他処理施設分）②	3,453	0	0	0	0
資源ごみ（リサイクルセンター分）③	1,880	1,881	1,859	1,856	1,878
資源ごみ（容器包装プラスチック）④	111	145	148	135	139
資源ごみ（廃食用油）⑤	4	3	3	3	3
粗大ごみ・不燃ごみ⑥	64	74	140	277	366
事業系ごみ（許可・直搬搬入）	2,074	2,639	2,638	2,803	2,933
可燃ごみ（石巻広域分）⑦	1,599	2,480	2,448	2,615	2,805
*可燃ごみ（他処理施設分）⑧	401	0	0	0	0
資源ごみ（リサイクルセンター分）⑨	39	46	37	37	36
粗大ごみ・不燃ごみ⑩	35	113	153	151	92
計	12,964	12,458	12,652	13,059	13,350
可燃ごみ（石巻広域分）①+⑦	6,977	10,196	10,312	10,600	10,836
可燃ごみ（他処理施設分）*②+⑧	3,854	0	0	0	0
資源ごみ③+④+⑤+⑨	2,034	2,075	2,047	2,031	2,056
粗大ごみ・不燃ごみ⑥+⑩	99	187	293	428	458

*可燃ごみ（他処理施設分）：東日本大震災により石巻広域クリーンセンターが稼働停止となったことから、一時保管した可燃ごみを他の処理施設で処理したものです。



ごみ質別排出量（t/年）



平成 27 年度のごみ質別排出量の割合は、可燃ごみ 81%・資源ごみ 16%・粗大、不燃ごみ 3%の割合でした。

(2) ごみ処理状況

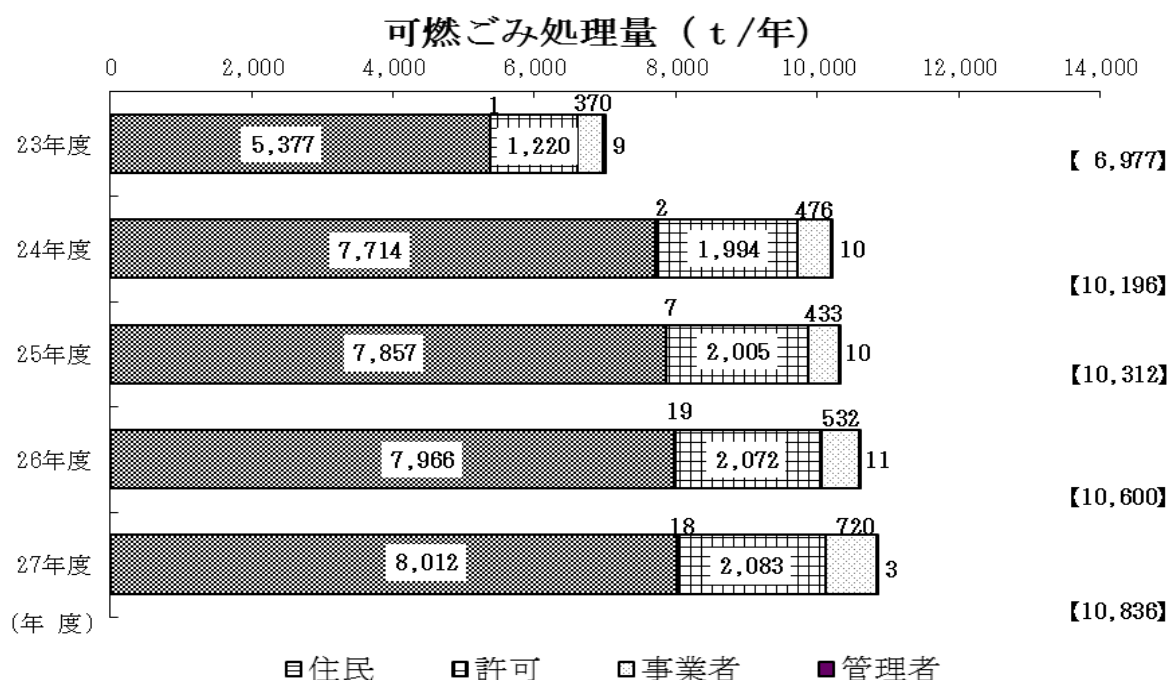
① 可燃ごみ処理量（石巻広域クリーンセンター分）

平成27年度の可燃ごみ処理は、全量を石巻広域クリーンセンターで焼却処理しています。家庭系可燃ごみについては、8,030 tと前年度より45 t増加しています。

また、事業系可燃物ごみについても同様に増加しており、特に事業者自らの搬入量が720 tで前年度より188 t増加しています。

(単位：t)

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
家庭系	委託収集 ①	5,377	7,714	7,857	7,966	8,012
	住民持込 ②	1	2	7	19	18
事業系	許可業者 ③	1,220	1,994	2,005	2,072	2,083
	事業者 ④	370	476	433	532	720
	管理者 ⑤	9	10	10	11	3
可燃ごみ処理量 ⑥ (Σ①～⑤)		6,977	10,196	10,312	10,600	10,836
月平均処理量 (⑥/処理月数)		775	850	859	883	903



② 資源ごみ、粗大ごみ・不燃ごみの処理量

資源ごみは矢本リサイクルセンターで中間処理を行い、粗大ごみ・不燃ごみは鳴瀬一般廃棄物最終処分場で分別し最終処分（埋立）を行います。

資源ごみ、粗大ごみ・不燃ごみの処理数量は次のとおりです。

(単位：t)

区 分			23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	
資源ごみ等排出	家庭系	委託収集	①	1,941	2,041	2,021	1,963	2,011
		住民持込	②	118	65	133	294	375
	事業系（管理者ほか）		③	74	156	186	188	128
	資源ごみ等排出量 計		①+②+③	2,133	2,262	2,340	2,445	2,514
中間処理の状況	資源化量	紙 類	④	1,006	1,051	1,025	1,036	1,026
		金属類	⑤	267	253	254	233	254
		ビン類	⑥	332	379	356	371	377
		ペットボトル	⑦	101	118	119	111	115
		容器包装プラスチック	⑧	108	142	142	135	139
		硬質プラスチック	⑨	1	8	8	14	21
		布 類	⑩	44	68	66	78	91
		木くず	⑪	7	32	59	90	79
		ガラス・陶磁器類	⑫	82	74	61	62	70
		廃食用油	⑬	4	4	3	3	3
		その他 (有害ごみ、廃タイヤ)	⑭	9	43	24	21	31
		資源化量 計	a (Σ④～⑭)	1,961	2,171	2,117	2,154	2,206
		※資源化率（資源化量/搬入量×100）			91.9	95.9	90.5	88.1
	分別残渣（可燃物・処分場＋容器プラ）		b	27	63	88	141	255
分別残渣 (埋立物：各処分場へ)		c	145	28	160	150	53	
資源ごみ等処理量 計		a + b + c	2,133	2,262	2,340	2,445	2,514	

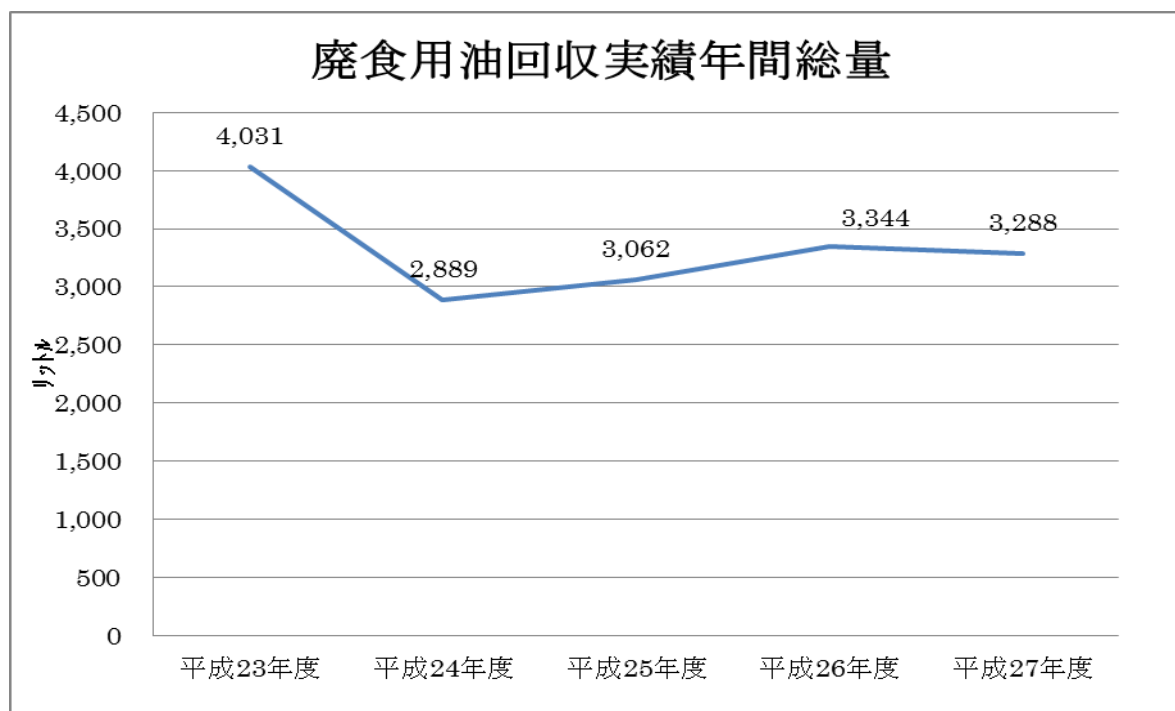
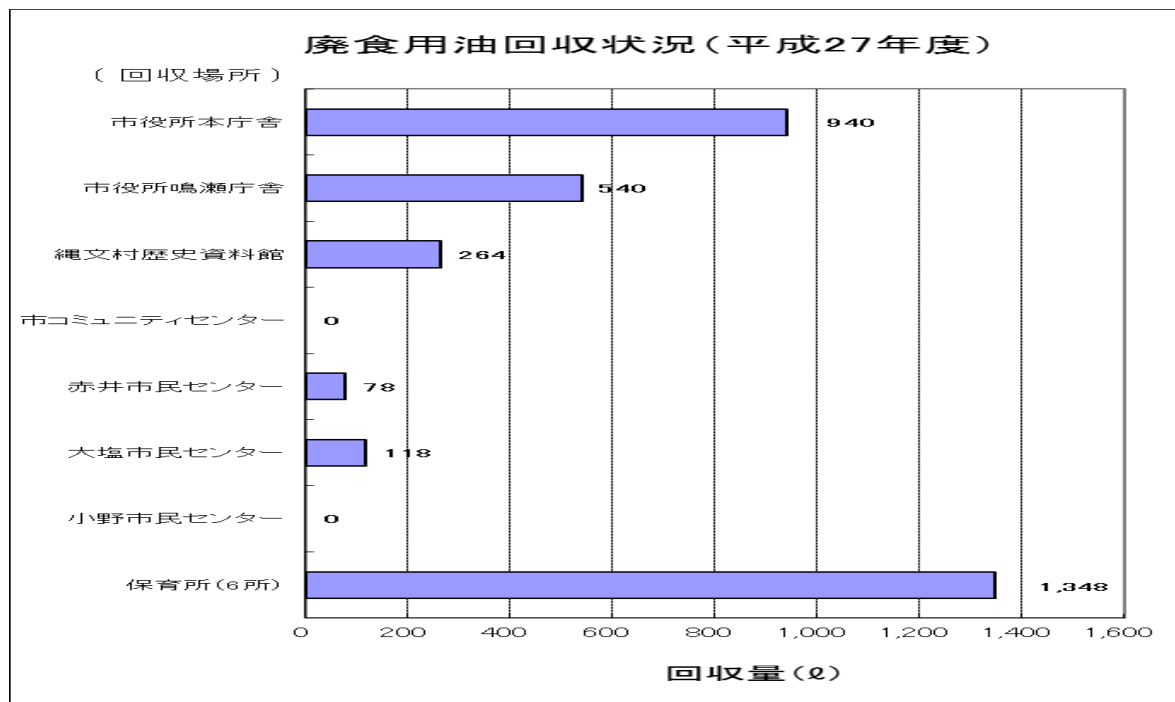
※回収した資源ごみの90%近くを資源化することによって、埋立処理量を削減し、最終処分場の延命化へとつながっています。

③廃食用油回収

平成19年5月から資源循環型社会の構築と廃棄物減量を目的に、家庭から排出される廃食用油の回収を行っています。

この事業で回収された廃食用油は、再利用して廃棄物再資源化及び減量等に貢献しています。
平成27年度回収量は前年度より560少なくなっています。

平成27年度回収量：3,288（前年度比較 -560）



④容器包装プラスチック類の分別収集

平成20年5月から、可燃ごみの減量と容器包装プラスチック類（容器包装プラ）の資源化を図るため、分別収集を実施しています。

収集した容器包装プラスチック類は、民間処理業者により資源化を行っています。

なお、資源化に適さない不適合物は、返却され可燃ごみとして処理しています。

(単位：t)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
回収量	111	145	148	142	147
返却量（可燃ごみ）	3	3	6	7	8
処理量（資源化）	108	142	142	135	139

⑤リサイクル率の推移

リサイクル率は、平成27年度実績21.8%となっています。

今後は、ごみの排出抑制と資源ごみ等の分別徹底の啓発等により、リサイクル率の向上を目指します。

リサイクル率の推移は次のとおりです。(単位：t)

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
ごみ処理量+集団回収 a		13,267	12,852	13,093	13,534	13,786
資 源 化	資源化量（矢本リサイクルセンターほか）①	1,961	2,171	2,117	2,154	2,206
	資源化量（石巻広域分）②	122	424	436	363	368
	集団回収 ③	329	466	529	454	436
	資源化量+集団回収 b(①+②+③)	2,412	3,061	3,082	2,971	3,010
リサイクル率 (b/a × 100) %		18.2	23.8	23.5	22.0	21.8

※資源化量（石巻広域分）については、可燃ごみを広域クリーンセンターで焼却した後に、焼却残渣物の中に含まれるアルミや鉄類等です。

⑥最終処分率の推移

本市の最終処分率は、平成27年度実績で8.9%です。

最終処分率の推移は次のとおりで、平成23年度及び平成26年度において最終処分量が少ない原因は、石巻広域クリーンセンターからの焼却残渣の搬入がなかったためです。

最終処分率5カ年を平均すると6.5%と最終処分率目標値（平成28年度：10%）を達成しています。

しかし、現在ある最終処分場の延命化を図るため、今後ともごみ減量の啓発と中間処理の充実を図り、最終処分率の減少を目指します。

(単位：t)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
ごみ排出量 a	12,938	12,386	12,564	13,080	13,350
最終処分量 b	281	1,337	1,146	219	1,190
最終処分率 (b/a × 100) %	2.2	10.8	9.1	1.7	8.9

⑦市民一人1日当たりごみ排出量

市民一人1日当たりごみ排出量は、東松島市一般廃棄物処理基本計画において平成28年度目標を796gと設定しています。

平成27年度では907gとなり、平成26年度と比較して15gの増となりました。

(単位：kg)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
人口(10月1日現在) a	40,762人	40,457人	40,330人	40,169人	40,199人
可燃ごみ総排出量 (クリーンセンター搬入量) b	10,831,614	10,196,280	10,311,670	10,740,730	11,090,870
資源 リサイクルセンター 搬入量 c	1,919,460	1,918,070	1,895,800	1,912,500	1,914,250
資源 容器包装プラ資源量 d	108,810	142,390	142,150	135,330	139,160
資源 廃食用油 e	4,031	2,889	3,062	3,344	3,288
粗大・不燃ごみ総量 f (鳴瀬処分場搬入量－可燃物 搬出量)	74,460	126,530	211,400	287,670	202,750
総排出量 (b～f) g	12,938,375	12,386,159	12,564,082	13,079,574	13,350,318
一人1日排出量 ($g \times 1,000 / a / 365$ 日)	810g	839g	854g	892g	907g
市一般廃棄物処理計画に定め る一人1日排出量目標値	871g	856g	841g	829g	806g

